



町長の行政報告を お知らせします

八峰町12月議会定例会が14日から16日までの会期で開かれ、町長の行政報告や一般質問、補正予算の議案審議などが行われました。町長の行政報告の中から主なものをお知らせします。

平成29年度当初予算 地方創生関連事業を積極的に

平成29年度当初予算編成にあたっては、普通交付税の大幅な減による財源不足が見込まれることから、新規事業は極力抑制するとともに、効果の薄れた事務事業の廃止・縮小に集中的に努めることや、本年度に策定する「公共施設等総合管理計画」で示される方針に基づき、遊休施設の除却を計画的に進め、維持管理費の縮減を図っていく初年度としています。

一方、「第二次八峰町総合振興計画」の構想・計画に基づいた事業は着実に実行し、町の将来像「白神の自然と人とで創るやすらぎのまち」実現のための通年予算を編成することとしています。

なかでも、国の「地方創生関連事業」や県の「人口減少社会における地域の維持・活性化を図る新たな取組み」などの新規補助事業は積極的に活用し、町が策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく産業振興や移住・定住対策、少子化対策に向けた取り組みを積極的に推進することとしています。また、「おがる八峰しいたけプロジェクト」に関する諸施策は、「あきた未来づくりプロジェクト」として採択されており、最重点施策の一つとしてその着実な推進を図ります。

旧埴川小の活用計画 3月末までの答申を予定

旧埴川小学校の活用計画についてで

すが、11月8日、役場において「第1回旧埴川小学校活用計画検討会」を開催し、会長、副会長を互選した後、地区住民アンケートの結果や役場庁内検討会の協議結果などを報告するとともに、今後の日程を協議しました。

また、12月7日には、旧埴川小学校に会場を移して第2回検討会を開催し、現地視察を行うとともに、各委員から活用案を提案していただくなど本格的な議論をスタートさせました。今後、数回会議を開催し、3月末までに活用計画を答申していただくこととしています。



社会福祉協議会事務所一本化 旧八森中学校舎で10月から業務開始

八峰町社会福祉協議会事務所統一につ

制限となっています。

今季の季節ハタハタ漁は、11月25日正午に解禁され、網入れが行われました。海がしけた後の12月3日には、本格的に接岸し、八森・山石館両漁港あわせて、8・4トンの水揚げがあったほか、翌日の12月4日には30トンを超え、順調に水揚げを伸ばしています。

魚体は、2歳から3歳魚中心で、例年に比べ大型魚が多く混ざっており、価格も高値で推移しています。

はっばうんめものまつり 記念すべき10回目の開催

記念すべき10回目という節目を迎えた今回は、町内から13店舗、町外から21店舗、合計で昨年より1店舗少ない34のグルメ店が参加しました。

2日間の売り上げは、悪天候により伸び悩み、34のグルメ店とおらほの館を合わせて、約670万円と前年の売り上げ約800万円を大きく下回りました。雨の中、参加してくださった皆さまと、企画・運営に携わった実行委員会ははじめ、関係者の皆さまに厚くお礼申し上げます。恒例となりました、ルート101観光連絡協議会による国盗り綱引き合戦は、昨年に続き強風により中止になり、10月15日の「深浦チャンチャンまつりと深浦牛まつり」で決着をつけることになりました。結果は2勝1敗で見事勝利を収めた。観光的景境が、これまでの「お殿水」から青森県の「十二湖駅」へ北上することになりました。

最後の配分となる29年度産米生産調整 秋田県は4万8,644トンに

平成29年度産米の生産調整については、農林水産省は11月28日、29年度産米の都道府県別生産数量目標を発表しました。全国の生産数量目標は、昨年より8万トン減の735万トンとなりました。秋田県は前年より4,448トン減少し、4万8,644トンの配分となり、昨年に比べ1・1%減少しました。平成30年度以降、国からの生産数量目標の配分廃止が決定されており、実質、今回が最後の配分となります。

小6・中3とも良好な結果に 全国学力・学習状況調査

全国学力・学習状況調査については、10回目を迎えた全国学力・学習状況調査の28年度の結果について去る9月29日公表され、秋田県は、今年度も小学校6年生、中学校3年生とも「大変良好な状況にある」とのことでした。

当町の状況は、小学校6年生については、国語・算数両教科とも、全国や秋田県の平均を超える良好な結果でした。また、中学3年生については、全国・秋田県の平均を各教科とも大きくクリアして大変良好な結果となっています。

学力調査の結果については、この結果に甘んずることなくしっかり分析し、明らかになった課題を授業の中で重点的に取り組み、指導方法を工夫して定着を図るなど、具体的な対策を積み重ね、更に

いでです。平成18年の八峰町誕生以来、福祉需要が増える中、二事務所体制で運営してきましたが、施設の老朽化や、効率的な職員体制の構築によりサービスを充実させるため事務所の一本化が必要とのことでした。

この4月に旧八森中学校校舎が遊休施設となったことから、新社会福祉協議会事務所として無償貸与し、本年10月に引っ越ししたところです。社会福祉施設として利用しやすくするため、「地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金及び地域介護・福祉空間整備等推進交付金」を利用しバリアフリー工事などを実施し、このたび完成しています。平成29年度からは包括支援センター業務を新たに受託する計画であり、地域福祉及び介護の拠点施設として更なる活動を期待するものです。

ハタハタ漁獲枠は昨年と同じ 大型魚が例年より多く混じる

ハタハタ資源は、平成25年以降減少傾向が顕著となり、今季の秋田県の漁獲対象資源量は昨年より100トン少ない1,900トン程度と、大変厳しい状態となっています。

この状況を受け、県や漁業関係者で構成する「ハタハタ資源対策協議会」では、今季の漁獲枠を昨年と同じ800トンとし、そのうち北部総括支所管内に割り当てられた季節ハタハタ漁の漁獲枠配分は、昨年と同じ102・7トンと厳しい漁獲

移動図書館車「としよカーン」 利用者は1日平均10人に

10月3日より運行を開始した移動図書館車の運行状況については、運行

移動図書館車の愛称については、運行に先駆けて募集をおこなったところ、31点の応募があり、そのなかで八森小学校1年吉田恋菜さんの作品「としよカーン」に決定しています。

「としよカーン」は、2週間に1回の割合で各集落や要望のあった事業所等をまわっており、この2カ月の貸し出し実績は、1日当たり換算すると平均で10人の利用者数と31冊の貸出冊数になっています。利用状況については地域差があるため、口コミ等によるPRなど、やり方を工夫していきたいと考えています。



12月議会定例会に 提出した主な議案

- 八峰町一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について
- 八峰町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 八峰町職員の子供保育等に関する条例及び八峰町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 八峰町税条例の一部を改正する条例制定について
- 八峰町国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について
- 八峰町立幼保連携型認定こども園条例制定について
- 土地の処分について
- 土地の取得について
- 工事請負変更契約の締結について
- 平成28年度八峰町一般会計補正予算4,816万5千円を増額するもの
- 主な追加補正分
 - 定住促進用空き家改修事業費
 - 生活バス路線及びマイタウンバス維持費補助金、町有バス購入費、住宅リフォーム緊急支援事業補助金の追加など
- 各特別会計補正予算